



八王子盲学校だより



令和5年3月発行 第6号

東京都立八王子盲学校長 安田 咲登子

心を育てる

校長 安田 咲登子

先日、道徳授業地区公開講座を開催し、地域の方や保護者の皆様に道徳の授業を見ていただきました。教員はそれぞれの発達段階や課題を見極め、視覚障害の状態に配慮した題材で授業を進めました。子供たちは、主題に向き合い、意見を出し合いながら真剣に考える様子がありました。授業後の意見交換会を受けて、改めて子供たちの「心を育てる」ために大切なことを考えました。

一つ目は、実感を伴う豊かな体験です。特に幼いころにはやってみてはじめて分かることがたくさんあります。視覚に障害のある児童・生徒にとってはなおさら大切です。転ぶことやけんかをして仲直りすることも経験して、はじめて次に生かすことができます。二つ目にはその体験で感じたこと、考えたことを言葉にかえていく作業です。「うれしかった」、「悲しかった」だけではなく、どうして、どのように、豊かに表現することで考えが深まります。言葉の力が充実すると、本や他の人の経験からも学ぶことができます。そして三つ目には、互いに尊重し、自分と違う価値観を認め合える温かな集団づくりです。「よい集団は、よい個を育てる」という言葉のとおり、道徳の授業だけではなく、日々の学校生活全体で常に意識していきたいと感じました。

最後になりますが、卒業生のみなさん、保護者、関係者の皆様、我慢の多かった3年間だったと思います。その中でも工夫しながら明るく、前向きに過ごし、自分の進路を決めた一人一人に心から敬意を表します。御卒業おめでとうございます。

修了とは

副校長 能瀬 圭介

高等部の卒業式が無事に終わりました。立派に巣立っていきました。

そして在校生の皆さんには3月24日に修了式があります。1学期や2学期は終業式と言いますが、3学期は修了式と言います。誰もが第〇学年の学習を修了したので、「修了証をいただく式」となります。「これはとても大きなことだ」と毎回、この時期になると感じています。

修了とは階段を1段ずつ上がるように大切です。1年進級できた。一生懸命努力したからまた一つ自信が付いたと胸を張ると同時に、保護者の方々や先生、友人、お世話になった人々に感謝して、そして勉強できる環境にいれることに感謝してほしいです。

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に御理解と御支援を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。

本校教職員の研究活動について

主任教諭 菊池 理一郎

今年度、本校では「視覚障害教育の専門性の向上と継承～創意工夫を凝らした実践の集約と分析を通して～」をテーマに、個々の教職員が研究活動に取り組んできました。

今年度は、学部の枠を外して、国語や数学などの教科、自立活動、重複障害教育、寄宿舍での生活指導など、テーマごとにグループを編成しました。そして、グループのメンバー同士で創意工夫した授業や指導実践を互いに見学し合い、改善点などを明らかにする活動を続けてきました。そして、それらの研究活動の結果や成果については、研究紀要としてまとめ、全国の盲学校などに発送する予定です。

今回の研究は、基本的に個人が行った実践記録を集約したものでありますが、今後、数年間にわたって積み重ねていくことで、本校の教育実践力の向上が図れると考えております。今後も学校教育の基本は「良い授業」であることを肝に命じながら、教員一人一人が目標をもって努力を続けていきたいと考えております。今後とも御指導、御鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

学校評価の御協力ありがとうございました

主幹教諭 野村 利己

今年度も学校評価アンケートの御協力をいただき、ありがとうございました。10名の協議委員に委嘱し、本校の教育活動について協議をしていただきました。7月に行った学校評価アンケートの回収率は保護者 74.4%、中学部生徒 57.1%、普通科生徒 68.8%、理療科生徒 70%、地域住民 52.5%、協議委員 50%、教職員 100%でした。

3回の協議会を対面形式で開催し、委員の皆様からアンケート結果を元に多くの御意見をいただきました。いくつか御紹介いたします。「PTAの広報活動（ティッシュ配布）など、地域との連携を深めていけるとよい。」「ホームページは学校の発信のみになりがちである。保護者が知りたいことを把握して発信する必要がある。」「家庭と学校の連携のよさ、学校に対する信頼がアンケート結果に出ていてよい。」

また、アンケート結果から明らかになった諸課題について、校内各部署で検討しました。協議会でいただいた御意見や御助言を教職員で共有し、改善につなげて参ります。詳細は報告書を御覧ください。

保護者の皆様には今後とも本校の教育活動への御理解と御協力をお願いいたします。

いじめ防止 1行コラム

主幹教諭 稲垣 哲人

「いじめは どんな理由があっても やってはいけません！」

いじめは、人を傷つけ、悲しませます。どんな理由があっても、絶対にやってはいけません。

幼児・児童・生徒のみなさん あなたの味方は必ずいます。一人で悩まず、相談してください。

保護者の皆様 お子さんの様子を注意深く見てください。気になることがありましたら、御相談ください。

地域の皆様 子供たちの見守りをお願いいたします。

思いやりの心とやさしさで、みんなの笑顔があふれる学校にしていましょ。